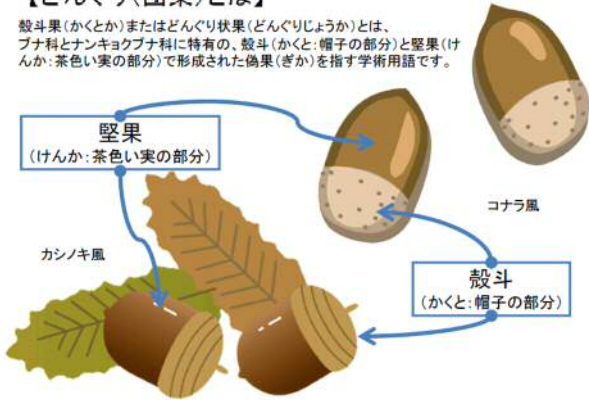


【どんぐり(団栗)とは】

殻斗果(かくとか)またはどんぐり状果(どんぐりじょうか)とは、ブナ科とナンキョクブナ科に特有の、殻斗(かくと:帽子の部分)と堅果(けんか:茶色い実の部分)で形成された偽果(ぎか)を指す学術用語です。



【どんぐり(団栗)とは】



【どんぐりの木】 原生林と二次林



【どんぐりの種類】 1番手

コナラ:ブナ科コナラ属(落葉ナラ類)
殻斗の模様は「ぶつぶつ」(うろこ状)



クリ:ブナ科クリ属(落葉)
殻斗はいがいが

【どんぐりの種類】 2番手

□アラカシとシラカシ:
ブナ科アカガシ属(常緑カシ類)



↑ アラカシ : 殻斗(かくと)の模様は「縞模様」
↓ シラカシ

【どんぐりの種類】 3番手

□クヌギとアベマキ
:ブナ科コナラ属(落葉ナラ類)



【どんぐりの種類】 食べることのできるどんぐり

□スタジイとコジイ(ツブラジイ):ブナ科シイノキ属(常緑)



殻斗が堅果を包むようになっている
スタジイ→実は円錐形(先が細い)
コジイ→実は丸っぽい(小さい)

【どんぐりの種類】 国内移入種

□マテバシイ:ブナ科マテバシイ属



殻斗はコナラのようなうろこ状で
堅果はシイの仲間らしく、先がやや細い



コナラ

コナラ:
最もポピュラーなどんぐり
大粒な弾丸状の実
帽子の模様はうろこ状



ミズナラ

ミズナラ:
コナラと同じどんぐりです
帽子が盛り上がっています
(成熟したどんぐり同士の比較)



アラカシ

カシノキ(アラカシ、シラカシ):
小粒な実に 縦縞がみられる
帽子の模様は横縞模様

アベマキ(クヌギ):
丸い大きな実
もじゃもじゃの深い帽子



アベマキ

シイノキ:
円錐の小ぶりな実
実を隠すような帽子

マテバシイ:九州南部から 南西諸島に自生
大きくて弾丸のような実
鱗模様の帽子
コナラと同じ特徴です。



スダジイ



マテバシイ